公益財団法人８０２０推進財団
令和７年度　歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

１．事業名：幼児期のう蝕罹患率の低下ならび乳歯列期から混合歯列期の口腔ケア及びかかりつけ歯科医受診勧奨を目的とした「しおり」や動画などを含むＷｅｂ活用による啓発活動

２．申請者名：一般社団法人横浜市歯科医師会　会長　佐藤　信二　※申請時 吉田　直人

３．実施組織：一般社団法人横浜市歯科医師会

４．事業の概要：

（1）しおり

８０２０推進財団歯科保健活動助成事業の申請を横浜市歯科医師会として行う以前に、横浜市都筑区にて「１．６歳～３歳児にかけてのう蝕罹患率が１０倍に増加している」ことに対し、注意喚起を行う必要があると考え、「しおり（母子手帳サイズ）」を作成し「１．６歳児乳幼児健診」にて配布することを開始した。その後西区が同様の周知媒体を自主制作し、区民向けのイベントでの配布を行った経緯がある。

令和５年度からは継続的に８０２０推進財団歯科保健活動助成金を用い横浜市保土ケ谷区、泉区、金沢区、磯子区、戸塚区、中区、鶴見区、緑区に制作してきた。今回はさらに希望があった横浜市青葉区、南区に対して制作し、各区の「乳幼児歯科健診時」に配布を開始した。

最終的には横浜市内１８区全てにおいて制作し、横浜市を全体においてこの「１．６歳～３歳児にかけてのう蝕罹患率が１０倍に増加」の減少を目指したい。

（2）「教えて！めばえちゃん」ＨＰアップデート

「横浜市歯科医師会」が制作している妊婦さん～赤ちゃん、幼児のための歯、口腔の健康に対しての応援サイト「教えて！めばえちゃん」のアップデートを行った。

今回、小児領域の口腔粘膜疾患として、好発年齢・性差・症状・治療法を臨床写真とともに掲載し、受診の際の手助けとなるコンテンツを作成した。

また前回、「授乳」「離乳食」のアップデートを行ったが、今回はさらに実際に食事風景の動画を使い、そこからわかる問題点やそれに対するアドバイスなどのナレーションを入れて掲載した。

５．事業の内容：

（1）しおり（母子手帳サイズ：乳幼児歯科健診時、保護者の母子手帳に挟み込む）

表面：１．６歳～３歳児にかけて「う蝕罹患率」が１０倍に増加することに対しての注意喚起

裏面：子供の歯の応援室「教えて！めばえちゃん」の案内（ＱＲコード表示）
各地区の乳幼児歯科健診実施医療機関 案内（ＱＲコード表示）
各地区の歯科医師会のロゴ表示

基本的には以前から制作している内容と同じ。

各地区歯科医師会ロゴマークを配置、その横には各地区の会員診療所一覧を確認できるＱＲコードを表示。

○ しおりの印刷枚数（各地区の前年度１．６歳児健診対象者数を参考に算出）

南区　　９５０枚
青葉区　　１，８５０枚

（2）「教えて！めばえちゃん」のアップデート

① 小児領域の口腔粘膜疾患について

小児によく見られる口腔粘膜疾患について、好発年齢、性差、臨床症状、治療法などを、写真と共に説明した。

保護者にとって、知りたい情報がすぐに見つかり対応できるような見やすいページになった。

② 離乳（離乳食）や幼児食について

小児期の食事は口腔機能発達にとってとても重要である。

実際の乳幼児の食事動画を用い、そこに見られる問題点や口腔機能の発達についての解説及びアドバイスをナレーションとともに掲載した。

６．実施後の評価

「教えて！めばえちゃん」ホームページはこれまでアップデートを重ねていき、それに伴い着実にアクセス数を増やしている。

また、他社からも転載などの依頼もきていて、認知度も上がってきている。

我々は、この「教えて！めばえちゃん」ホームページ１つで、妊娠期から幼児期までの知りたい情報がすぐにわかることを目指し、今後も動画などを追加してより充実したホームページを目指す。